

理事長挨拶



～2期目によせて～

理事長 片山 和郎

「ローマは北敵来たりて崩壊せず内なる意思により滅亡したり」

「ローマは一日にしてならず」とは有名な諺である。長い期間において努力や創意工夫を怠りなく、且つ継続して続けなくては成功が成されないということでしょうか。逆に何百年も続いたローマ帝国が崩壊した意味・事由を現代的に解釈した標題の言葉のほうに私はシックリくと思っています。常に勇猛果敢なゲルマン民族に翻弄されてきたことが崩壊の主要な原因とされていますが、実は常に勝ち進んだ結果、領土が拡大しすぎ、民衆もローマにあらずば人にあらずという思いが自然発生的に生まれ、民衆は放漫となり、為政者は驕り、政治意思の伝達は遅く届き且つ法律の統一は軽んじられ、安易な解決策が横行していった状況下においてゲルマン民族等の攻撃・追及に耐え切れず崩壊したのではないかと考えられます。

このことは現代の組織でも大なり小なり同じことが言えるのではないかと思います。私たちは職業会計人や士業としてのたゆまざる研鑽と努力を行わなければなりません。毎年の税制改正研修をはじめ税法の研修はもちろん、地域に溶け込み、人間の持っている怠けたいなど負の性と戦いながらも、あらゆる場面で範となる行動や人徳の高揚を求められます。

漫然と排他的専属資格だけを掲げて、職業的ポジションの高さだけを見つめていても、地域

の方々はしっかり見ています。高き人格や豊かな人徳の形成をいろいろな人と出会う中で醸成しつつ、職業的レベルを上げ続けなければならないという宿命を担わされています。

そのときに初めて、常に主要な言い訳〈景気の悪化や政策が悪いせいである〉〈自分の業種・業態が時代にそぐわないせいである〉〈規模が小さすぎるせいである〉〈立地場所が悪いせいである〉〈大型店の進出が悪いのであり下請けになっているせいである〉を業績悪化の大義名分にしているお客様があったなら、正々堂々と指導できる能力と状況が生まれます。「自社の業績が悪いのは外部要因が悪いのであり、その外部原因が直らない限り業績のアップは望めない」という安易な理由を述べることに對して、敢然と理念の構築や創意工夫の必要性等を自信をもって説得する能力やコーチング力が活かされてきます。

協同組合は「みんなが参加し、みんなで分かち合おう」という基本理念がありますが、一部の人の努力には敬服に値すると感じながらも、その人たちにだけ頼っていて良いのだろうかという思いに駆られています。常日頃から「収益に直接結びつく保険業務だけを一生懸命やってください」と言っているわけではなく、いろいろな場面やいろいろな立場でお客様のためにならない事柄が生じた状況のとき又は自身や事務所の福利厚生に思いを馳せたときに、組合員全員が税理士協同組合への参加と利用を考えていただきたいと思っております。

来年の総代会に合せ愈々創立50周年を迎えるべく式典等各種の行事を予定しております。歴史を作りあげ、その歴史に携わってこられた先輩諸氏に感謝と敬意を表したいと思っております。

第2期目の就任にあたり〈全員が糧を担いで舟を漕ぐ〉協同組合を目指し精進致したいと思っておりますので、組合員、賛助会員一人ひとりからのご協力を切にお願いし就任の挨拶といたします。